

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
2025年度第5回理事会議事録

1. 日 時 : 2025年12月16日(火) 19:00~20:15

2. 場 所 : ZoomにてWeb会議

3. 出席者

(1) 出席者 8名 大橋健、水野勝教、今井俊二、森重智年、松山森仁、
政岡恵太朗、梅田寛康、田中宏明(監事)

欠席者 3名 野村泰朗、島谷太、瀧本英智

(2) 理事以外の出席者 2名 前田正久(事務局長)、休場万喜(事務局)

4. 議 事

1. 2026愛知大会について
2. 2027大会について
3. Webページの作新について
4. その他

1) 今後の事務局について

5. 資料

資料1. 小型IRボール用バッテリー等の購入費用について

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本理事会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2026愛知大会について

①水野専務理事より、2026年大会の参加費について審議を求めた。

上記審議事項に関して下記のような意見があった。

・参加費を値上げすることなく、今のスポンサーと参加費だけで運営することが可能な
のか。物価は上がっており、参加費を上げるタイミングを見失うと、上げづらくなるの
ではないか。

・予算的には、今年1回限りであれば、参加費を上げなくても運営は可能である。

以上の審議を踏まえ、2026年度大会の参加費は前年と同額とし、来年3月の総会
にて、2027年大会以降の参加費について、値上げするか否かを諮ることで承認が
された。

②水野専務理事より、12月9日に開催された実行委員会の要望を受け、サッカー
の導線、部屋の割振り等修正案をSlackにあげた。各技術委員会に諮り見直しがあれば、
今週末を目途に連絡するよう要望がなされた。梅田理事より、業者への支払い条
件について質問がされ、事務局にて対応するとの回答がされた。

③大橋代表理事より、学会賞の選定方法について、人工知能学会より同学会の規定
に準じた選考方法に改めるよう連絡があった。2026年大会からは、各リーグの選
考委員がチームを選び、選定委員会に推薦するものとする。また、選定委員会のメン
バーには人工知能学会の会員を含める必要があり、会員である大橋代表理事、水野専
務理事に加え外部審査員を含めた構成にするとの報告がされた。RSJ賞(日本ロボ
ット学会)についても、同じ選考方法にて推薦するとの確認がされた。

梅田理事より、選定基準として人工知能を使ったチームを選んでいるが、該当する
チームがなかった場合はどうすればいいかとの質問に対し、水野専務理事より該当チ

ーム無しでもいいとの回答がされた。

④前田事務局長より、これまで経済産業省、文部科学省への後援依頼は、開催する自治体からお願いしていたが、今回は自治体の協力がないためどうするかとの質問がされた。大橋代表理事より、可能であれば後援依頼を出して欲しいとの要望があった。

⑤水野専務理事より、愛知大会では同伴者と一般来場者の区別がつかないため、同伴者の区分は設けないとの説明がされた。梅田理事より、オンステージではロボットが大きいため、同伴者が選手と一緒に時間に会場入りを希望することがある。また、同伴者登録した人が、スタッフ登録すれば同伴者と同じ時間帯に入場でき、登録料も不要なことを知らない人がいた。複数名がメンターとして登録することは可能か。スタッフ登録した場合や返金規定について、今井理事に大会概要に明記するよう要望を行った。

(3) 2027大会について

①大橋代表理事より、本日欠席の島谷理事より、人的支援や補助金は無いが、共催することで会場費を減免頂ける自治体があるとの提案がされ、承認された。開催地については、総会で報告後、大会最終日に発表することを確認した。

②大橋代表理事より、2028年大会以降について、協力頂ける機関がないか検討中であるとの報告がされた。交通の便が良いところ、3年連続で開催することができる会場がいいとの要望があった。

(4) Webページの作新について

①確認したところ、事務的な問題で作業着手できていないことと要件定義との差異を調整する必要があることが明らかになった。期間を延長して実施するかとの意見に対し、今井理事より、今年は80万円の予算があったので執行可能であったが、来年は実費開催ということもあり、HPリニューアルに予算が組めるかどうかは再検討する必要があるとの意見があった。水野専務理事より、来年2月の理事会にて、2026年度予算案の中で再検討することを確認した。

(5) その他

①大橋代表理事より、2026年の世界大会は韓国の仁川で開催され、今年のブラジルと比較して近くで開催されること、また近年ではクラウドファンディングを活用するチームがあることから、世界大会旅費支援について見直してはどうか提案があった。

上記審議事項に関して下記のような意見があった。

- ・世界大会旅費支援は参加費の10%を目途とする取り決めがあり、開催場所によって支援額を変更するのはどうか。しかし、交通費の支払い先については、スタッフへの支払いを手厚くしてもいいのではないか。物価上昇により、スタッフとして参加したくても宿泊費の上昇により断念する人もいるのではないか。

- ・ジャパンオープンの場合、地域（ブロック）別にスタッフへの交通費の支援額が区分されており、世界大会についても同様に区分してはどうか。

- ・予算には限りがあるため、優先順位を付けてスタッフ交通費やHP刷新に予算を回すべきではないか。

以上の審議を踏まえ、来年2月の理事会にて、2026年度予算案の中で再検討することを確認した。

②今後の事務局について

前田事務局長より、9月の理事会で提案したとおり、名古屋に事務局を移転、専任の事務員を派遣で雇うことを確認し、承認された。なお、事務局の移転は、総会の議決および登記簿の変更が必要であることを確認した。

③松山理事より資料1に基づき、IRボール用バッテリー等の購入費用について承認を求めた。大橋代表理事より、IRボールは、10ブロックから25個の申し入れがあるとのことだが、残り25個はどうするのか。9ブロックからバッテリー配付の要望があるとのことだが、愛知大会の会場用に予備で購入する必要はないかとの質問があった。松山理事より、Li-Poバッテリーの特性上、予備のバッテリーを事務局に長期間保管するのは危険であり、会場へは関西ブロック分を持ち込むとの回答があった。以上の審議を踏まえ、IRボール用バッテリー等の年内購入が承認された。

④森重理事より、大会会場視察について、交通費支給の確認があった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025年月12月16日

議長	大橋 健	
理事	水野 勝教	
同	今井 俊二	
同	森重 智年	
同	松山 森仁	
同	政岡 恵太朗	
同	梅田 寛康	
監事	田中 宏明	